

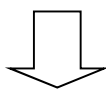
非行少年を生まない社会づくりの 推進について



少年非行の背景

- 少年自身の規範意識の低下とコミュニケーション能力の不足
- 少年の規範意識醸成を担ってきた家庭、地域社会の教育機能の低下
- 少年が自分の居場所を見出せず、孤立し、あるいは疎外感を抱いている状態

少年の規範意識の向上、社会との絆の強化を推進



① 少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動

「待ち受け型」から「出前型」へ

少年や家庭からのSOSを待つのではなく、警察から問題を抱えていると思われる少年や保護者に対して、積極的に連絡を取り、関係機関やボランティア等とも連携し、立ち直りを支援します。



困っていないか？

連絡・訪問等

実は…



<立ち直り支援活動の例>

継続的な連絡、訪問を通じた悩み事等の指導・助言

関係機関・団体と連携した就学・就労支援

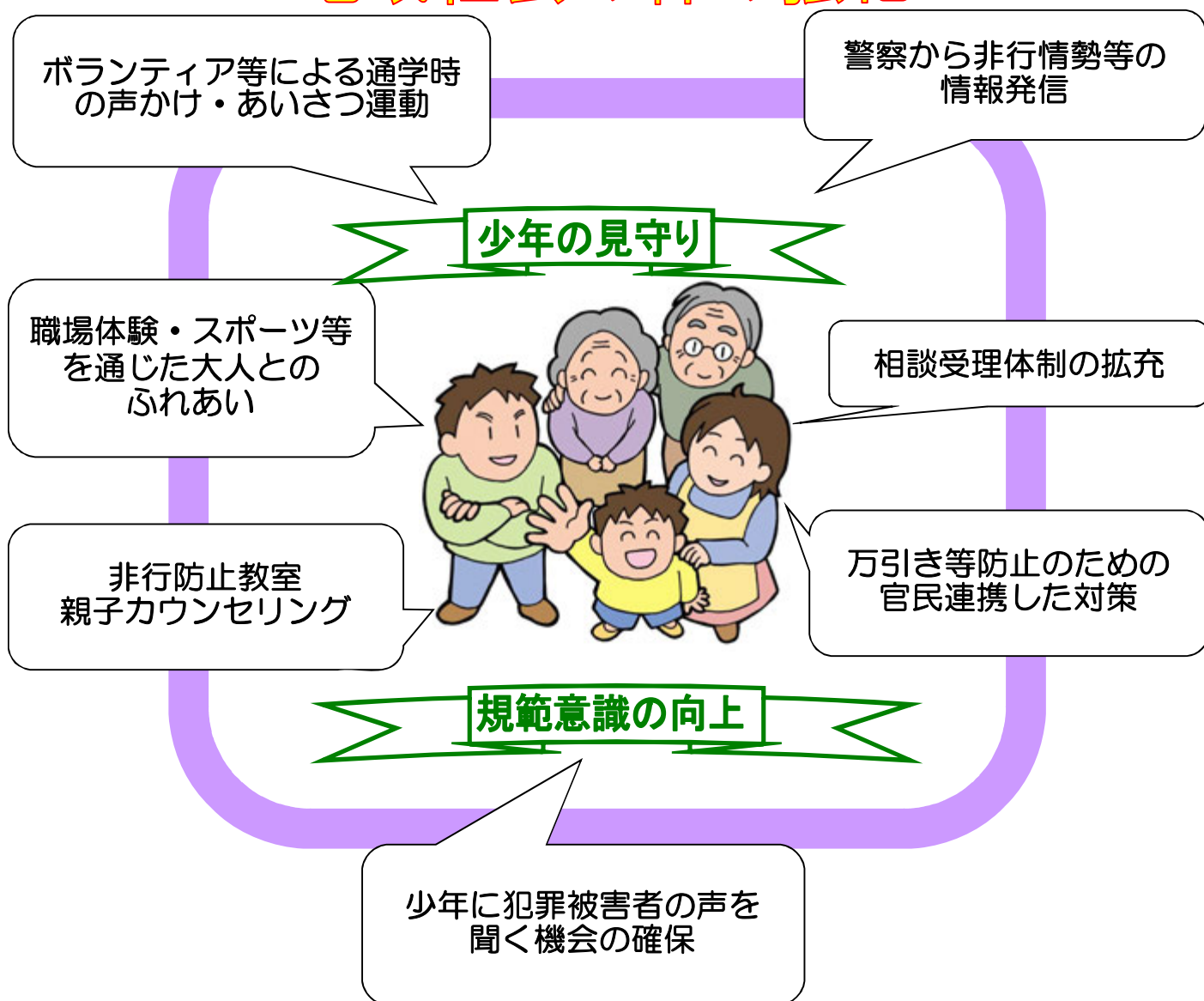
学習支援、スポーツ大会、料理教室、清掃活動等の

② 少年を見守る社会気運の醸成

少年が孤立し非行に走ることをないよう、地域社会全体で厳しくも温かい目で少年を見守りましょう。

少年に対し、身の回りには常に自分のことを気にかけている「大人の目」があることを伝えましょう。

地域社会の絆の強化



～警察では、すべての問題を抱える少年を支援します～

徳島県警察本部
少年女性安全対策課

相談
電話

ヤングテレホン
いじめホットライン

088-625-8900
088-623-7324